

先生の本棚

阪本 博志（准教授）

「本は出版されてから三カ月以内くらいのうちに買って置かなければならない」。学生のときに読んだ、加藤秀俊氏（社会学者）の『取材学』（中公新書、1975年）の一節である。この一節は、私が本を購入する際の姿勢に影響を与え続けている。

この本の刊行から40年がたち膨大な本が流通するなかで、必要性を感じたものは、新刊書は書店で、品切れ・絶版のものは古書店で、すぐに購入している。購入する専門書は、出版、メディア、社会学、文化論、歴史関係のものが中心である。

また、過去の雑誌等も、重要な資料として購入している。たとえば、2008年5月に『平凡』の時代——1950年代の大衆娯楽雑誌と若者たち』（昭和堂、2009年に第30回日本出版学会賞奨励賞・第18回橋本峰雄賞を受賞）という本を上梓した。1950年代を代表する大衆娯楽雑誌である『平凡』『明星』（現『Myojo』）については、いずれも創刊号から、1950年代のものを中心に数百冊所有している。

これまでに収集した本は、研究室・自宅・実家の3ヶ所に置いている。このうち自宅には、どの部屋にも本棚を設置し、本や資料（国会図書館や大宅壮一文庫などの図書館で複写したものも含む）のうち、当面の原稿執筆に必要と判断されるものを中心に所蔵している。

そうした本の収集のなかでのささやかな楽しみは、講演会等で本の著者からサインをいただいたり、サインの入った古書を購入することである。ちなみに最近書いていただいたものは、トマ・ピケティ氏に、その著書『21世紀の資本』（みすず書房、2014年）に私の名前入りで頂戴したものである。



最近読んだお気に入りの一冊

・酒井順子『オリーブの罌』
（講談社現代新書、2014年、『週刊読書人』2015年1月30日号に書評を寄稿）

YOMMU! おすすめの1冊

『世界から貧しさをなくす30の方法』

田中優、樫田秀樹、マエキタミヤコ／編

遠い問題のように思いがちな世界の貧困問題。実は、私たちの生活に密接に関わっている問題であるということをもこの本から知ることができた。先進工業国が発展途上国で行っている開発により現地の村が破壊され、人びとの命が犠牲に…。まさか、と思うような事実が現地の声を聞いた方々によって語られている。そして私たちが途上国に善意で行っている「援助」は、本当に現地の人々の助けになっているのだろうか。私たちが貧困をなくすためにできること、本当の「援助」とは何か、非常に考えさせられる一冊だ。

【紹介者／博田理紗子（1年）】

『紛争、貧困、環境破壊をなくすために世界の子どもたちが語る20のヒント』

小野寺愛、高橋真樹／編著

私がおすすめするのはこの本です。私はあまり読書が好きではないのですが、一つの話について8ページずつくらいなので読みやすいです。また、現地の子どもたちの言葉が書かれていて、とても興味深く読み進めることができます。この本の中には、「あなたができること」として、私たちにもできそうなことが書かれています。この本を読んで少しでも現状を知ることができてよかったです。



【紹介者／結城 幸佳（2年）】



私の図書館活用術

なんといっても、落ち着く場所であり、勉強するには最適な空間がそこには漂っている感じがします。ちょっとした息抜きをしたいときは近くにある、新聞や雑誌を読むことが可能で、決して退屈になることはありません。また、決してしゃべってはいけないという束縛もなく、コミュニティの場に変化することもあります。このような居心地のよい空間は、私にとって勉強するには最適な場所です。また、様々なジャンルの読み物があるので、さまざまな知識を蓄えることができます。おかげで、より多くの書物に触れてみよう、とか今日は違うものを読もう、といった本を読むことが好きになりました。これからも活用させていただきます。

【紹介者／松本 和樹（3年）】

3年後期に入って部活を引退したところから、時間に余裕ができてじっくりと図書館を利用する機会が増えました。私は大学院進学や院留学を考えていたので、研究分野の資料や語学関連のテキストはもちろん、読みたい論文がない時に他大学から取り寄せることができるILLサービスも活用させてもらいました。これは今では一部無料になったようで、卒論執筆中にはとても役立つサービスだと思います。併せていくつかの新聞に目を通すことを習慣にしていたのですが、英字新聞では日本の新聞では取り上げられていない国内のニュースが載っていたりして、このような視点の違いを発見することも面白かったです。今や本を借りるだけの場所ではない図書館、その魅力をもっと知っていただきたいです。

【紹介者／樗木 真理（4年）】

Camellia Vol.5

— 図書館広報紙 —

【CONTENTS】

- 学生選書ツアーのレポート..... P. 1
- 図書館すごろく..... P. 2～3
- 先生の本棚..... P. 4
- YOMMU! ～おすすめの1冊～..... P. 4
- 私の図書館活用術..... P. 4



■ 選書ツアーを終えて

2014年11月「学生選書ツアー」が初めて開催された。大学図書館に置きたい自分の一押し本を探しだそうと、ある日の夕方、私を含めた9人の学生と図書館スタッフが市内の大型書店に集った。簡単な説明が終わり、開始の合図が出ると、みな思い思いに書店のあちこちに散らばっていった。開始後1時間くらい経っただろうか。ある程度本が決まってくると、手に持ちながらではさすがに重たいので、みな本を一旦置こうと、図書館スタッフの待つ書店の一角にぞろぞろと集まってきた。そうすると、どこからともなくおすすめ本自慢がはじまった。興奮気味に一押しの一冊を力説する学生もいる。それに聞き入る図書館スタッフたちもなんだか楽しそうだった。それぞれの学生が持つ「9つのモノサシ」によって選ばれた本たちは、こころなしか誇らしげに棚に並んでいるように見えた。

ところで、みなさんは読書の醍醐味をどう考えるだろうか。私の場合、著者と私の間に共感が生まれたときに、それを再確認する。本を書く人間というのは、自身の経験と知恵をフルに絞って「これでどうだ！これが俺の伝えたいすべてだ！」と、時に小難しい文章を用いながら、必死に伝えようとしている人たちだと思っている。たかが一冊の本と思われるかもしれないが、本は言い換えれば著者自身なのである。

そしてなんといっても、一冊読み終えたときに感じる、本に対する「征服感」がまた心地良い。大げさと言われればそうなのだが、自分の本棚に本が増えるたびに何とも言えない愉快な思いが意識を浸す。意味もなく本棚の整理をして、一人ニヤニヤするのも楽しい時間だ。

今回私が選んだ本も、そんな著者のエネルギーが溢れる大好きな本ばかりである。これはきっと他の参加者たちが選んだ本も同じであるにちがいない。私は自然科学分野の本も多数選んだが、それらの知識を得ることによって、自然や宇宙に対して、驚きや発見を伴う一種の共感を味わうことができるだろう。

この「共感する」という行為について、興味深い話がある。我々は脳の中に「ミラーニューロン」という神経細胞を持っている。実験によれば、Aさんの行為を見ているBさんの脳の中を調べると、ただ見ているだけのBさんの脳内で実際に動いているAさんと同じ場所の神経細胞が発火していることがわかったのだ。サルとの比較研究の結果、我々人間はこのミラーニューロンによる共感能力が極めて高いことがわかってきた。人間はこの共感能力を発達させること



によって、他者の気持ちを想像し、他者に憧れを抱くことができるようになったのだ。本を読んでいて「この人すげー！」「この著者と友達になりたい！」と本に強く共感し、主人公や著者に憧れを抱いた経験は誰しもあるだろう。このように、憧れの対象を読書体験の中で得、その対象に自分を重ね合わせながら成長できるのが、我々人間の特権なのである。

このように考えれば、図書館はとっておきの「憧れ」を探せる場所なのだ。世界は驚くほど多様であり、すごい人たち、素晴らしい自然の宝庫である。あなたも思いの外すくなく、とっておきの憧れに出会えるかもしれない。まずは選書ツアーに参加した私達が、それぞれに憧れを抱いて選んだ「とっておきの119冊」から手にとってみてはいかがだろうか。【福守 鴻人（1年）】

図書館すごく

遊びながら覚える 図書館活用法!!

START

入学

ピカピカの新入生ー公立大椿太郎(ちゅんたろう)。図書館を使い倒して立派な卒業論文の完成を目指そう!



貸出の際は、学生証が絶対必要!
※雑誌や辞書など、貸出禁止のものもあるよ〜。

貸出

初めての貸出。ドキドキしながらカウンターで本を差し出す…
えっ、学生証がいるの!?
2つもどる



開館時間は、曜日や時期によって少しずつ異なります。
開館カレンダーなどで事前に確認して利用して下さいね。

【開館時間】
平日(月-金) 9:00-20:00
土曜日(休業期間中を除く) 11:00-17:00 ※学生のみ利用可
延長開館(定期試験期間) 9:00-21:00
短縮開館(各休業期間中) 9:00-17:00

資料検索

本を探す時のマスト・アイテム。
それが、蔵書検索システム(webOPAC)!
読みたかった本が図書館にあることが分かった。2つすすむ



延滞

あれ、この間借りた本の返却期限はいつだったっけ…?
しまった! 延滞だ!!
2つもどる

閲覧室にて

閲覧室には机がいっぱい。
落ち着いて勉強できるお気に入りの場所を発見!
1回やすみ



図書館は、菓子類も含めた飲食について、原則禁止です。但し、ブラウジングホール(※)内に限り、フタ付き飲料の摂取はOK。
※ブラウジングホールとは、新聞や雑誌を置いている吹き抜け空間のこと。図書館は、この「ブラウジングホール」と、入退館ゲートの奥にある書棚が並ぶ「閲覧室」の2つの空間から成っています。

館内での飲食

待ちに待ったランチタイム。
さあ、図書館でランチしよう。
ん? 図書館職員が血相変えて走ってくるぞ…
4つもどる



返却

サークルが終わってから、
本を返却しに図書館へ。
わあ、図書館が閉まってる!
ど、どうしよう…。



館内に設置しているコピー機は、「著作権法」という法律により、館内資料以外のコピーが禁じられています。コピー機正面の掲示をよく読み、複写申込書に記入の上、コピーしてください。

コピー機

館内に設置しているコピー機で、持ち込み資料をコピーしていると、後ろから肩をポンポン。振り返ると、壁の掲示を無言で指差す図書館職員。こ、怖っ。
6つもどる



利用状況確認

図書館ホームページの【利用状況の確認】で、借りている本の返却期限をチェック。「貸出履歴」「利用者情報」なども確認できて、とても便利。
2つすすむ



卒論コーナー

気がつけば、もう2年生。専門演習(ゼミ)を決める時期だ。「う〜ん、どこがいいかなあ。そうだ!先輩たちの卒論を見に図書館へ行ってみようっ!」



入退館ゲート

「講義に遅れそう!!」貸出処理を忘れて、そのまま館外へ…と、「ピーッピーッ!」鳴り響く警報。ビックリ&恥ずかし〜(汗)
1回やすみ

貸出処理を受けずに、資料を持ち出した場合には、入退館ゲートの警報が鳴り響きます。その場合は、恐れ入りますが、図書館職員が手荷物等を一緒に確認させていただきますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

返却方法は、以下の3パターン。
【開館時】
①カウンターに返却⇒基本です。
②カウンター横の返却ボックスに投函。⇒続けて本を借りず返却のみの場合はとても便利♪
【閉館時】
③閉まっているので①②の方法は当然×。そんな時は、図書館入口に設置している返却ポストにIN!

GOAL!

卒業

自他ともに認める卒業論文を書き上げた椿太郎。念願だった進路への就職も決定。晴れて社会人の仲間入り。



ILL サービスとは、本学の図書館に所蔵が無い場合に、他大学からコピーあるいは資料そのものを取り寄せるサービスです。詳しくは、図書館スタッフまで。

ILL(アイエルエル)サービス

卒論の執筆がいよいよスタート。先生に指示された本が図書館にない…。いつものように図書館職員に相談すると、ILL サービスを紹介された。
2つすすむ

データベース

受講している講義で課題が出た。本だけではなく「データベース」を駆使して、サクサクと情報収集。新聞や雑誌の記事、百科事典、法律、企業情報等々、様々な情報が簡単に収集できるデータベースは強い味方だ! 1つすすむ

論文を探すなら「CiNii」!



予約

借りたいと思っていた本が「貸出中」…。図書館職員に相談したら、「予約」を勧められた。返却されたら、次はボクの番。ほっと一安心。